

第 50 期 報 告 書

Annual Report

平成18年11月1日から平成19年10月31日まで



株主メモ

事業年度	毎年11月1日から翌年10月31日まで
定時株主総会	毎年1月開催
基準日	定時株主総会 毎年10月31日 期末配当金 毎年10月31日 中間配当金 毎年 4月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人	〒540-8639 大阪市中央区北浜4丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒540-8639 大阪市中央区北浜4丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	(住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417 (その他のご照会) ☎0120-176-417
(インターネットホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daike/index.html
同 取 次 所	住友信託銀行株式会社 全国各支店
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所市場第1部 大阪証券取引所市場第1部
公 告 の 方 法	電子公告(当社のホームページに掲載する。) < http://www.tasaki.co.jp/what/index.html >

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より格別のご愛顧とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成19年10月31日をもちまして、第50期事業年度（平成18年11月1日から平成19年10月31日まで）を終了いたしましたので、ここに事業の概況並びに主要事項につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年1月



代表取締役社長
田崎 征次郎



名誉会長
田崎 俊作

夢のないところに実現はない

D r e a m & B e a u t y

事業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や設備投資が高水準に推移し、景気は底堅さを持続しました。しかし消費者心理は、原油価格の高騰を背景に、耐久消費財の購入を控えるなど冷え込みが感じられました。宝飾品業界においても、貴金属の高騰や顧客嗜好の多様化などにより販売の難しさが高まり、厳しい環境下にありました。

このような状況のもと当社及びグループ会社は、中期経営計画の課題を順次実行に移し、資産の圧縮や有利子負債の削減など、初年度の主目標であった財務体質の改善をほぼ達成いたしました。

当連結会計年度の売上高は302億11百万円（前年同期比3.7%増）、経常利益は5億64百万円（同14.4%増）となりました。当期純利益におきましては、特別利益に固定資産売却益99億34百万円、特別損失に「棚卸資産の評価に関する会計基準」早期適用による評価損79億47百万円及び固定資産の減損損失19億65百万円を計上したことなどにより、20億30百万円の損失（前年同期は14億82百万円の損失）となりました。

事業セグメント別の概況

小売事業

小売事業の売上高は173億35百万円で19百万円（前年同期比0.1%）の減収となりました。これは国内市場において主にダイヤ製品の売上が不振であったためであります。営業利益は、営業費用が4億89百万円増加し、5億9百万円減益の24億10百万円となりました。

卸売事業

卸売事業の売上高は128億64百万円で12億23百万円（前年同期比10.5%）の増収となりました。これは主に海外子会社の売上が好調であったためであります。営業利益は、営業費用が11億75百万円増加したことにより、1億41百万円増加の11億17百万円となりました。

その他事業

その他事業の大部分が外食事業であり、売上高は11百万円で1億14百万円（前年同期比90.6%）の減収となりました。これは、残っていた1店舗を閉店したことによるものであります。営業利益は、営業費用が1億59百万円減少し、9百万円の損失（前年同期は53百万円の損失）となりました。

基本的経営方針

国際的製販一貫体制

当社及びグループ会社の基本的経営戦略は、国際的な製販一貫体制による高付加価値を獲得することです。当社及びグループ会社は、真珠製品については真珠貝の養殖から、ダイヤ製品についてはダイヤ原石の海外入手から、それぞれ加工工程を経て完成品を製造しております。また、販売は国内・海外における小売・卸売へと展開し製造・販売ともに広範囲にわたる事業活動の中から、付加価値を産み出す仕組みをもっております。この事業構造をさらに高収益化し、株主価値を高めるため、次項に掲げる事業戦略・施策を、計画的に遂行してまいります。

事業戦略・施策

お客様満足度の向上と成長性の確保……………

デザイン力を高め、魅力ある高品質の商品を適時にお客様に提供いたします。店舗のスクラップ・アンド・ビルドとリニューアルを積極的に進め、販売員の教育も充実し、お客様サービスの向上に努めます。また、新規顧客及び販売ルートの開拓に継続して取り組み、効果的な広告宣伝によりグローバルなブランド力も強化し、販売の増加を図ってまいります。

収益力・財務体質の強化……………

生産コストの合理化と販売部門の効率化を図り、管理間接コストの徹底した削減に継続して取り組みます。また生産・仕入・販売の最適化を推進し、棚卸資産の圧縮を図ってまいります。これにより、潤沢なキャッシュ・フローを生み出し、有利子負債の削減に継続して注力し、積極的な事業活動のための投資原資を確保いたします。

目標管理の徹底による経営改善の推進……………

経営目標達成に向け、毎月の生産販売等について、部門別にきめ細かな目標管理を徹底し、組織運営の最適化に取り組みます。これにより、全社一丸となった経営改善活動を強力に推進してまいります。

「カラーストーン～大地が育んだ悠久の輝き」

人類が初めて宝石を発見して5千年と言われています。気の遠くなるような年月を経て、永遠の色と輝きを放ち続ける宝石＝「カラーストーン」の魅力をご紹介します。

宝石として求められる3つの条件

① 類い稀なる美しさ

「美しさ」は宝石の第一番目の条件に挙げられます。宝石の美しさにおいて、真先に求められるものは、その色彩の魅力です。また、宝石の完璧な美しさには、色彩の他、カットによって内部から湧き出る光輝や、深さを感じさせる透明感や、その光沢の相乗効果による照りが必要です。

② 不変的な耐久性

ダイヤモンドほど硬度は高くありませんが、日常生活の中で傷がつくということはなく、非常に耐久性があります。

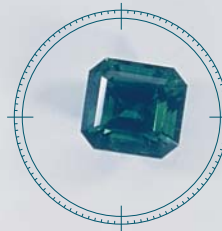
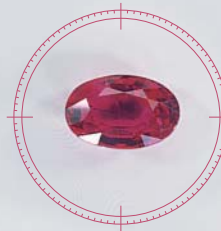
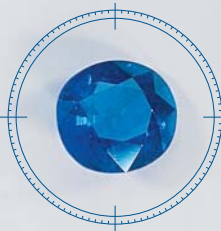
③ 希少価値

その石の産出が少ないということだけでなく、多くの人がそのものの価値を熟知していながら、その願望に対し、自由に供給されないところに本来の希少価値があります。

代表的なカラーストーン

① サファイヤ

ルビーと同じく「コランダム」という鉱物からできており、赤いルビーに対して、それ以外の色のものはサファイヤと呼ばれます。ブルー以外にも、ピンク、イエローなどがあり、カラフルな宝石です。



③ エメラルド

南国の深い海の色を思わせる緑色のこの石。産地によって様々な色合いの緑があり、日本人にはコロンビア産のエメラルドが似合うとされています。

② ルビー

情熱的な宝石といえばルビー。エメラルドとともにカラーストーンの中心的な存在です。2カラット以上の石は極端に少なく、希少性が増します。

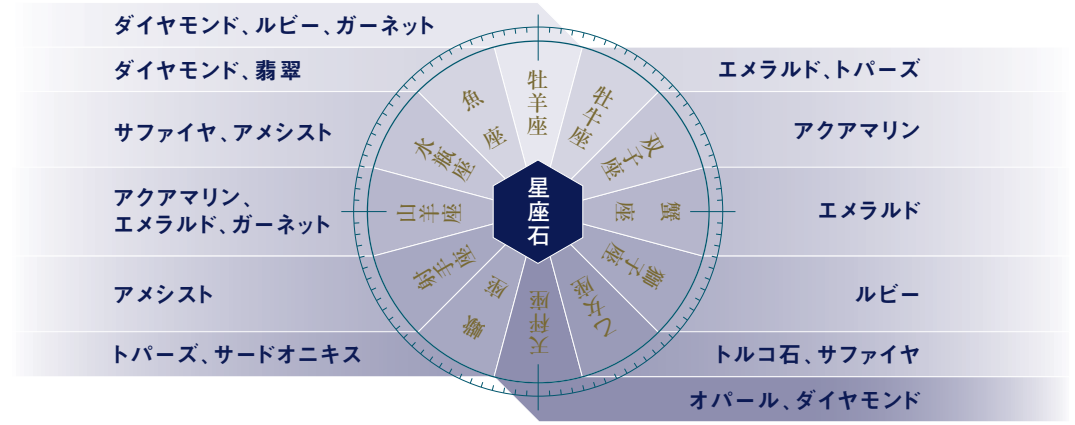


誕生石・星座石

宝石と言えば、皆様よくご存知の「誕生石」、そして西洋占星術を基にして作られた「星座石」です。当社では、この誕生石をテーマに、毎月新作を開発し、カラーストーン商品の主軸としてご提案しています。

誕生石

			ルビー	7月
			ペリドット、サードオニキス	8月
			サファイヤ	9月
			オパール、トルマリン	10月
			トパーズ、シトリン	11月
			トルコ石、ラピスラズリ	12月
1月	ガーネット			
2月	アメシスト			
3月	アクアマリン、珊瑚			
4月	ダイヤモンド			
5月	エメラルド、翡翠			
6月	真珠、ムーンストーン			



当社カラーストーン商品のオリジナリティー

当社の扱う主なカラーストーンは、エメラルド、ルビー、サファイヤ、アレキサンドライト、ガーネット、トルマリン、アクアマリン、タンザナイトなどで、アメリカ、コロンビア、ブラジル、タイ、スリランカなどから厳正な選別によって仕入れられます。そして、あこや・南洋・マベ・淡水の各真珠やダイヤモンドなど、選り抜きの素材

に複雑に組み合わせた商品であることが、「タサキ」のオリジナリティーです。今後も、海外拠点との連携のもと、「タサキ」のオリジナリティー溢れる商品作りを目指します。

新店舗
オープン

TOPICS

●国内

神戸三田プレミアム・アウトレットに、TASAKI People 神戸三田店をオープン。(平成19年7月) 当社のアウトレット店は国内8店舗となりました。また、平成19年11月、大阪に「ホテル日航心斎橋店」をオープン、平成20年4月には東京と埼玉に、秋には神戸日居留地に新店舗をオープンする予定です。



タサキコリア・ヨジュ店▲

●海外

韓国での直営小売店第1号店として、タサキコリア・ヨジュ店がオープン(平成19年6月)、中国では南匯HOPSCA店(平成19年8月)、済南貴和店(平成19年9月)がオープンいたしました。

【閉店】国内ではタサキダイヤモンドサロン(平成19年9月)、中国では上海龍之夢中山公園店(同6月)、ハルビン遠大店(同7月)、済南伊勢丹店(同9月)を閉店いたしました。

世界へ雄飛

当社では、ダイヤモンド事業において「サイトホルダー」を獲得した平成6年に、『国際化元年』と銘打って以降、世界各地での店舗や工場の開設等、グローバルカンパニーへの展開を図ってまいりました。

※世界最大手のダイヤモンド原石供給元であるティエスグループのダイヤモンドトレーディングカンパニー-DTCより、原石の直接的、安定的な供給を受ける権利のこと。

その中でも中国での展開は目覚しく、同年現地に上海田崎真珠有限公司を設立し、2年後の平成8年には上海南匯工場が竣工しました。店舗も同年、中国1号店の上海ネクステージ店をオープンさせ、それから11年余。現在では上海をはじめ、北京、大連、天津、重慶など14都市に30店舗を展開するまでになり、売上も好調に推移しています。中国の市場はこれからもまだまだ拡がると思われ、更なる店舗展開を進めて行く予定です。また、亜細亜田崎真珠股份有限公司(台湾)では7店舗を

展開、田崎真珠(香港)有限公司では、昨年お隣のマカオにも出店、韓国では上記タサキコリアを展開するほか、アメリカでは平成9年、ニューヨークにTASAKI USAを、ヨーロッパでは平成15年、ベルギーに現地法人・タサキユーロを設立し、当社の製品に加え、上海南匯工場の生産品の販路拡大にも貢献しています。今後も「世界のタサキ」として、グローバルな展開を進めてまいります。皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。



▲天津海広場店



▲成都伊勢丹店▲

▼パールヴァリエ



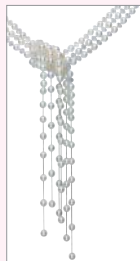
▼十二単



▼トリロジー



▼瀑布



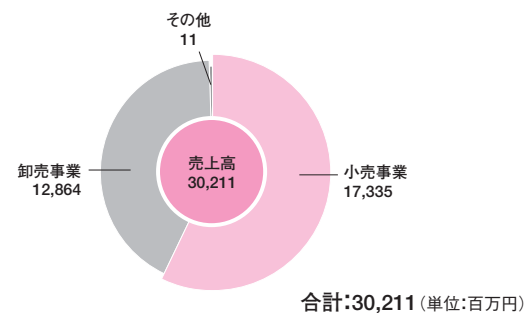
TASAKIの
定番アイテム

あこや真珠をメインにしたネックレス「瀑布」、 「パールヴァリエ」、そして「十二単」。多彩にアレンジして、ファッションとのコーディネートをお楽しみいただけるTASAKIの定番商品が、大変ご好評をいただいております。また、人気のトリロジーシリーズに新作が登場。着け方次第で、多彩な演出をお楽しみいただけます。

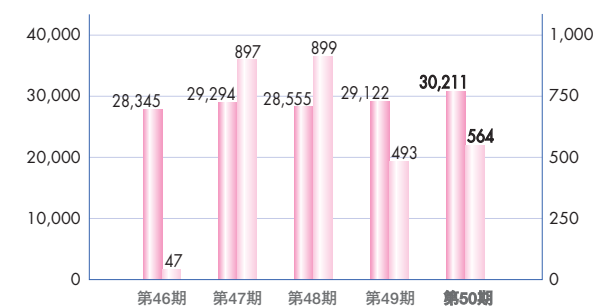
●主要な経営指標等の推移(連結)

	第46期 (平成15年10月期)	第47期 (平成16年10月期)	第48期 (平成17年10月期)	第49期 (平成18年10月期)	第50期 (平成19年10月期)
売上高 (百万円)	28,345	29,294	28,555	29,122	30,211
経常利益 (百万円)	47	897	899	493	564
当期純利益又は 当期純損失(△) (百万円)	△346	130	△534	△1,482	△ 2,030
1株当たり当期純利益 又は当期純損失(△) (円)	△9.47	2.54	△15.58	△39.78	△ 55.07
総資産 (百万円)	90,882	87,642	86,421	82,224	63,800
純資産 (百万円)	39,385	38,954	38,669	36,884	33,725
1株当たり純資産額 (円)	1,055.23	1,043.51	1,036.34	990.12	936.13
自己資本比率 (%)	43.3	44.4	44.7	44.9	52.9

●事業セグメント別売上高



●売上高・経常利益 (単位:百万円)



●貸借対照表 CHECK.1

科目	当期前期	
	(平成19年10月31日現在)	(平成18年10月31日現在)
資産の部		
流動資産	42,744	48,315
現金及び預金	3,969	3,370
受取手形及び売掛金	3,297	3,094
棚卸資産	31,396	39,408
その他	4,213	2,613
貸倒引当金	△132	△170
固定資産	21,040	33,909
有形固定資産	15,343	23,660
無形固定資産	143	2,415
投資その他の資産	5,554	7,833
投資有価証券	1,623	3,060
繰延税金資産	1,149	1,906
その他	2,914	3,228
貸倒引当金	△133	△362
繰延資産	15	-
資産合計	63,800	82,224

科目	当期前期	
	(平成19年10月31日現在)	(平成18年10月31日現在)
負債の部		
流動負債	13,792	17,977
支払手形及び買掛金	239	414
短期借入金	5,786	6,463
一年内返済予定の長期借入金	5,284	8,140
一年内償還予定の社債	-	1,500
その他	2,482	1,459
固定負債	16,281	27,362
社債	1,500	-
長期借入金	7,780	19,860
退職給付引当金	5,176	5,153
再評価に係る繰延税金負債	1,417	1,971
その他	407	377
負債合計	30,074	45,340
純資産の部		
株主資本	32,073	34,183
資本金	16,664	16,664
資本剰余金	16,212	16,361
利益剰余金	△15	1,354
自己株式	△788	△197
評価・換算差額等	1,652	2,701
その他有価証券評価差額金	246	467
土地再評価差額金	1,287	2,096
為替換算調整勘定	119	136
純資産合計	33,725	36,884
負債及び純資産合計	63,800	82,224

●キャッシュ・フロー計算書 CHECK.4

科目	当期前期	
	(自平成18年11月1日 至平成19年10月31日)	(自平成17年11月1日 至平成18年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△60	997
投資活動によるキャッシュ・フロー	15,930	809
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,527	△1,690
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	6
現金及び現金同等物の増減額	△664	122
現金及び現金同等物の期首残高	2,667	2,544
現金及び現金同等物の期末残高	2,002	2,667

●損益計算書 CHECK.2

科目	当期前期	
	(自平成18年11月1日 至平成19年10月31日)	(自平成17年11月1日 至平成18年10月31日)
売上高	30,211	29,122
売上原価	15,751	14,896
売上総利益	14,459	14,226
販売費及び一般管理費	13,189	12,561
営業利益	1,270	1,664
営業外収益	165	145
受取利息及び受取配当金	54	38
為替差益	-	27
その他	111	80
営業外費用	871	1,317
支払利息	690	692
社債利息	32	124
その他	148	499
経常利益	564	493
特別利益	10,083	101
固定資産売却益	9,934	2
貸倒引当金戻入益	66	-
投資有価証券売却益	-	36
確定拠出年金移行差益	-	62
その他	83	-
特別損失	12,467	2,021
固定資産除売却損	1,924	22
減損損失	1,965	1,985
投資有価証券評価損	51	12
養殖具異常斃死損	336	-
棚卸資産評価損	7,947	-
その他	242	-
税金等調整前当期純損失(△)	△1,819	△1,425
法人税、住民税及び事業税	1,218	273
法人税等調整額	△1,008	△217
少数株主利益	0	0
当期純損失(△)	△2,030	△1,482

●株主資本等変動計算書 CHECK.3 当連結会計年度(平成18年11月1日から平成19年10月31日まで)

	株主資本				評価・換算差額等				純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定		評価・換算 差額等合計
平成18年10月31日残高	16,664	16,361	1,354	△197	34,183	467	2,096	136	2,701	36,884
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当		△148	△149		△297					△297
当期純損失(△)			△2,030		△2,030					△2,030
土地再評価差額金取崩			809		809					809
自己株式の取得				△591	△591					△591
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)					-	△221	△809	△17	△1,048	△1,048
連結会計年度中の変動額合計	-	△148	△1,370	△591	△2,110	△221	△809	△17	△1,048	△3,159
平成19年10月31日残高	16,664	16,212	△15	△788	32,073	246	1,287	119	1,652	33,725

CHECK.1 貸借対照表

総資産は、前年同期比18,424百万円減少しました。その主なものは棚卸資産の減少8,011百万円、有形固定資産の減少8,317百万円です。負債は15,265百万円減少しました。これは有利子負債の減少15,613百万円、再評価に係る繰延税金負債の減少553百万円などです。

CHECK.2 損益計算書

売上高は、前年同期比で1,089百万円増加し、売上総利益も233百万円増加しました。販売費及び一般管理費の増加により営業利益は394百万円減少しましたが、営業外費用の減少により、経常利益は70百万円増加となりました。特別利益に固定資産売却益9,934百万円、特別損失に棚卸資産評価損7,947百万円を計上したことなどにより、税効果計算の結果、当期純損失は2,030百万円の損失となりました。

CHECK.3 株主資本等変動計算書

株主資本合計は、剰余金の配当297百万円、当期純損失2,030百万円、自己株式の取得591百万円を減算し土地再評価差額取崩809百万円を加算した結果、32,073百万円となりました。評価・換算差額等1,652百万円を加算し、当期末純資産合計は、前期末残高より3,159百万円減少し、33,725百万円となりました。

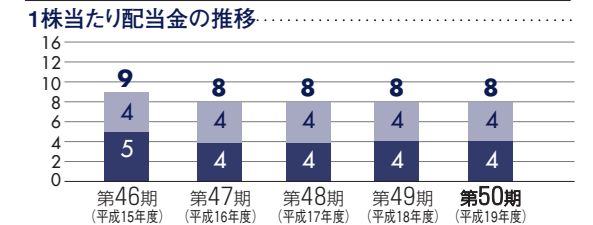
CHECK.4 キャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フローは60百万円の減少となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは固定資産の売却による収入などにより、15,930百万円の増加となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは借入金の減少などにより16,527百万円の減少となり、現金及び現金同等物は664百万円の減少となりました。

●配当金について

当社及びグループ会社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の最重要課題のひとつとして位置づけております。株主の皆様に対する配当金につきましては、出資に対するリターンとしての合理性、並びに会社側からの資本コストとしての合理性の均衡する額を考慮して決定しております。この基本方針に基づき年間配当金は、1株につき中間配当金4円を含め、合計8円とさせていただきます。

●配当金 期末 中間



会社の概要(平成19年10月31日現在)

商号	田崎真珠株式会社
創業	昭和29年1月10日
会社設立	昭和34年12月11日
資本金	16,664百万円
従業員数	1,292名
決算期	10月31日
営業目的	真珠の養殖、加工、販売及び宝石、貴金属を用いた宝飾品の製造販売ほか
本社	〒650-8550 神戸市中央区港島中町6丁目3番地2 TEL.078-302-3321
東京本社	〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目4番1号 TEL.03-5561-8856
インターネットホームページURL	http://www.tasaki.co.jp

役員(平成20年1月25日現在)

代表取締役社長	田崎 征次郎
代表取締役副社長	田崎 東次郎
専務取締役	芝原 茂信
常務取締役	明石 靖彦
取締役	田崎 将大
常勤監査役	正木 政弘
監査役	紅野 正樹
監査役	三谷 昭三
監査役	津村 公一

●株主優待 ～1,000株以上お持ちの株主様への大きな特典～

■株主ご優待カード



割引額	
真珠ネックレス	20% 割引
その他の商品	15% 割引

●「株主ご優待割引券」との併用が可能です。

●10月末日現在の1,000株以上ご所有の株主様が対象となります。有効期限は、翌年1月末日までの1年間です。また、11月1日以降翌年4月30日までに新規に1,000株以上ご所有となられた毎年4月30日現在の株主様に対しましても、残余の有効期限を有する株主ご優待カードを発行いたします。

●10月末日現在の株主様には翌年1月下旬頃に、4月末日現在の株主様には7月上旬頃にお送りしております。

■株主ご優待割引券



発行基準			
1,000 株以上	1枚	20,000 株以上	6枚
3,000 株以上	2枚	30,000 株以上	8枚
5,000 株以上	3枚	50,000 株以上	10枚
10,000 株以上	4枚		

●年2回、10月末日・4月末日現在の株主様が対象となります。

●1枚1万円相当／発行後1年間有効です。

●10月末日現在の株主様には翌年1月下旬頃に、4月末日現在の株主様には7月上旬頃にお送りしております。

ネットワーク(平成20年1月現在)

●事業所
本社(神戸市中央区)、東京本社(東京都港区)、田崎真珠布引ビル(神戸市中央区)、東京田崎ビル(東京都港区)

●工場
田崎ジュエリービル(神戸市中央区)、六甲台工場(神戸市灘区)、大村工場(長崎県大村市)

●養殖場・研究所
奄美養殖場(鹿児島県大島郡)、天草養殖場(熊本県上天草市)、島原養殖場(長崎県南島原市)、伊ノ浦養殖場(長崎県西海市)、九十九島養殖場(長崎県佐世保市)、平戸養殖場(長崎県平戸市)、伊万里養殖場(佐賀県唐津市)、志岐養殖場(長崎県志岐市)、五島養殖場(長崎県南松浦郡)、田崎海洋生物研究所(徳島県海部郡)

●その他
田崎真珠研修センター(兵庫県三木市)

国内店舗

札幌店、札幌パセオ店、TASAKI People千歳店、仙台店、山形大沼店、田崎真珠銀座店、田崎パールギャラリー、成田空港店、田崎オーロラモール店、並木通店、京王プラザ店、帝国ホテルプラザ店、オータニ店、サンシャインシティ店、ランドマークプラザ店、横浜ダイヤモンド地下街店、ジャスコ秦野店、TASAKI People御殿場店、TASAKI People佐野店、新潟三越店、スズラン高崎店、スズラン前橋店、大丸東京店、柏ぞこう店、京王新宿店、東急本店、名古屋東急店、名古屋栄店、田崎真珠ユニモール店、富山店、TASAKI People土岐店、京都店、四條河原町店、ザキューブ店、なんば店、ヒルトンプラザ店、デアモール店、帝国ホテルプラザ大阪店、田崎真珠ザ・リッツカールトン大阪、関西空港店、リーガロイヤル大阪店、ホテル日航心齋橋店、TASAKI Peopleりんくう店、田崎真珠ギャラリー、神戸ポートピア店、三宮センター街東店、タサキSOL店、神戸空港店、TASAKI People垂水店、TASAKI People神戸三田店、高松三越店、高知大丸店、ヤマトヤシキ店、加古川ヤマトヤシキ店、広島三越店、広島店、天神店、田崎真珠ソラリア店、田崎真珠アクロスギャラリー、長崎店、リーガロイヤル小倉店、鶴屋百貨店、TASAKI People鳥栖店
(*色文字は百貨店内店舗)

海外事業所・店舗

〈香港／田崎真珠(香港)有限公司〉
香港、マカオ
〈台湾／亜細亜田崎真珠股份有限公司〉
高雄、台北、台中、台南、新竹 計7店舗
〈中国／田崎珠宝(上海)有限公司〉
上海、大連、北京、天津、濟南、青島、鄭州、重慶、成都、西安、瀋陽、南匯、昆明、武漢 計30店舗
〈韓国／Tasaki Korea Co., LTD.〉
ヨジュ
〈アメリカ／Tasaki U.S.A. INC.〉
ニューヨーク
〈ヨーロッパ／Tasaki Euro N.V.〉
アントワープ
〈ミャンマー／MYANMAR TASAKI CO., LTD.〉
ヤンゴン、ドーメル

※平成19年11月、上海田崎真珠有限公司は、「田崎珠宝(上海)有限公司」に社名変更いたしました。

株式の状況(平成19年10月31日現在)

■株式の種類：普通株式

■株式数：発行可能株式総数 120,000,000株
：発行済株式の総数 37,805,664株

大株主の状況

氏名又は名称	所有株式数(株)	発行済株式総数に対する所有株式の割合(%)
株式会社サハダイヤモンド	4,183,000	11.06
田崎 俊作	2,397,000	6.34
株式会社三井住友銀行	1,782,440	4.71
住友生命保険相互会社	927,000	2.45
株式会社近畿大阪銀行	699,057	1.85
住友信託銀行株式会社	683,000	1.81
田崎真珠社員持株会	636,224	1.68
メリルリンチ日本証券株式会社	462,674	1.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	461,000	1.22
田崎 東次郎	379,641	1.00

※当社は自己株式1,779,265株を保有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

■当期名義書換：件数 419件 株式数：7,329,790株

■当期末株主数：9,565名

